

令和3年度 第1回 岡山県国民健康保険運営協議会（書面開催） 議事概要

1 日 時 令和3年9月

2 委 員 綱島委員、山坂委員、太田委員、佐藤委員、田頭委員、伊達委員、
浜田委員、足羽委員、南委員、高田委員、國定委員

3 概 要

事務局から委員へ資料を郵送し、意見等回答様式により、委員から提出のあった意見等に対し、事務局が回答した。

(1) 議事

- ・岡山県国民健康保険運営方針（第1期）の取組状況
- ・令和3年度国民健康保険料(税)率
- ・保険者努力支援制度
- ・岡山県国保ヘルスアップ支援事業計画等

(2) 送付資料

- ・資料1：令和3年度 岡山県国民健康保険運営協議会（第1回）説明資料【国保制度全般】
- ・資料2：令和4年度保険者努力支援制度について
- ・資料2参考：令和3年度 岡山県国民健康保険運営協議会（第1回）説明資料【保険者努力支援制度】
- ・資料3：附属資料

(3) 意見内容等

【岡山県国保ヘルスアップ支援事業計画等】

委 員：特定健診、特定保健指導の実施率の向上への取り組みが続けられているが、未だ成果が出ていない。①実施率が低迷している原因について、どのように分析しているか。②同様に低迷していた他県において、実施率の向上の成果があった取組があるか。③現在行われている取組において、今後どのように向上していくと予測しているか。

事務局：①県民満足度調査では、受診しない理由として、「心配なときは病院を受診するから」「定期的に通院しているから」などが多く、又、生活習慣病は無症状で進行することもあり、受診の動機づけの不十分さが主な原因と考えております。②受診勧奨について、千葉県千葉市がナッジ理論を用いて受診勧奨を行い、36.2%から39.9%に受診率が向上しております。本県でも、この取組をモデル市町村で実施しております。③経年的な推移では、少しずつで

すが、受診率は向上しているため、現在取り組んでいる市町村支援を今後も継続して実施することで、将来、受診率の向上につなげたいと考えております。

【全般】

委員：保健事業について、協会けんぽやその他の保険者と取り組むべき事業はほぼ共通しているため、保険者協議会の機能をもっと充実させることで経営資源の重複を極力避け、Win-Winの関係が築けると考える。地域や家庭単位で見れば複数の保険者の加入者が混在しているはずであり、保険者間での連携に、より重点を置く施策が必要である。

事務局：岡山県保険者協議会では、参画する保険者と協同で、①特定健診の受診率向上を図るためのWEB広告の実施やポケットティッシュの配布等の広報活動②特定保健指導を実施する専門職を対象とした実践者育成研修会の開催③国民健康保険と提供いただいた被用者保険の特定健診結果データの分析を通じたデータヘルスの推進④実施機関リスト等の協議会ホームページへの掲載を通じた特定健診とがん検診等の同時受診の促進など、被保険者等の健康づくりの推進を図るための様々な保健事業に取り組んでいるところです。ご意見のあった保険者間の更なる連携強化につきましては、他県等の先進的な事例等を参考に、どのような取組が可能か検討してまいります。

以上